



愛川ふれあいの村 今月の風景

## 2022年8月 自然のたより

今年の立秋は8月8日でした。子供の頃は「え～っ、もう夏が終わってしまう！」と焦るような、悲しいような思いをしたことを思い出します。立秋とはこれからが夏本番で、でも、ちょっとだけ何処かに秋の気配も感じるころです。昼に夏を代表する虫のツクツクボウシやミンミンゼミがうるさいくらいに鳴いている。夕方には第2ファイヤー場の草の広場ではウスバキトンボの群れがゆっくりと飛んでいます。今年生まれた小鳥たちも親鳥から離れ立ちしてこれからのシーズンに向けて様々な生きる術を学んでいます。やっぱり秋は確実に近づいています。(高梨)



ウシヅラヒゲナガゾウムシ



イソヒヨドリ



コオニヤンマ



イヌゴマ



ハエドクソウ



キツネノカミソリ…



ニワツノゴケ



マユタテアカネ



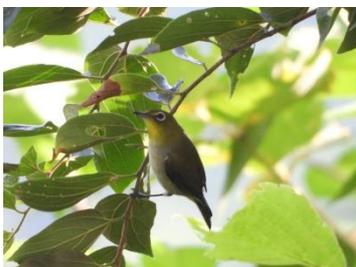
オオシオカラトンボ



コシアキトンボ



ハグロトンボ



メジロ



コゲラ



エナガ幼鳥



囀るウグイス

## トピックス ★ミョウガの花★

毎年、梅雨の時期にミョウガを採っていたような記憶があるのですが、ここ数年は梅雨を過ぎて夏の時期に収穫しているように思います。

ミョウガの旬を調べてみると、「6月から10月過ぎの初夏から秋にかけて」との記載もあるので、私の記憶もあながち間違いではなさそうです。

ミョウガは、ショウガの仲間で、英名で *japanese ginger* とあり、食用として栽培されているのは日本のみとされているようです。

収穫時期によって「夏ミョウガ」「秋ミョウガ」と呼ばれ、そうめんや冷ややっこの薬味として独特の風味が重宝します。甘酢漬けもおいしいですね。

スーパーに並んでいるミョウガではまずお目にかかることはないと思いますが、村に生えているミョウガを収穫すると、ちょっと収穫時期を逃した感じで、たいていミョウガに花が咲いています。

ぷっくりとした形からは想像できない、淡い黄～白色をした、どこか神秘的な花なので、機会があればぜひご覧ください。

よく「ミョウガを食べると物忘れがひどくなる」と言われますが、実際にはそのようなことはなく、むしろ集中力が増す効果があるそうなので、今年の夏は積極的にミョウガを味わってみてはいかがでしょうか。(袖山)



## 生き物 ★月見草と待宵草★

「富士には月見草がよく似合ふ」太宰治の「富嶽百景」に出てくる一節です。中学時代の国語の時間に教材として出てきたのかと思われるが定かではない。でも、何故か、月見草を見ると「富士には月見草がよく似合ふ」という文が頭に浮かぶ。

ある日、道端に咲いている、薄いピンク色の花を見かけ、きれいだなと思い調べたら「月見草」です。あれ？オオマツヨイグサやメマツヨイグサのことを別名、月見草というのではなかったかと、さらに月見草について調べてみたら、太宰治が言った月見草は待宵草のことで本当の月見草は他にあるらしい。

どちらも夕方から夜にかけて咲く花です。間違いとまでは言わないが本当の月見草にとってはかわいそうな話です。(高梨)



## 旬 ★ナワシロイチゴ★

野生の食べられるイチゴは、8種類ある。食べて美味しいのはモミジイチゴやクサイチゴだろう。

道端などに生えるナワシロイチゴは、棘がありつる状にはい回る多年草で、草刈りをしても毎年同じ場所に生えてくる厄介な植物です。田んぼの苗代どころ花を咲かせきるのが名の由来です。あまり目立たない花ですが、実はたくさん付きます。実は酸味が強く酸っぱい味ですが鳥たちは喜んで食べます。

花言葉は、「誘惑」「恩恵」です。鳥たちはこの赤い実に「誘惑」されて食べているのでしょうか。

鳥達が食べ残した大粒の赤い実を1粒食べると甘い味に花言葉の「恩恵」を思い出し疲れを忘れてしまった。(吉田)



来月の見どころ  
**ハグロトンボ**  
お盆のころ羽の黒いトンボがひらひらと飛ぶ姿を見かけます。精霊トンボと盆トンボと言ったり神様トンボと呼ばれているハグロトンボのことです。その由来は、ゆったりとした動きで羽を閉じたり開いたりする様子が、人がお祈りをするときに手を合わせる動作に似ているからと言われています。  
トンボはイネにつく害虫を捕まえてくれるので人間にとっても役に立つ益虫です。そのためむやみに殺生をしないように伝えられています。  
最近、トンボをはじめとする昆虫たちがどんどん減ってきています。池や沼の減少、文明社会の発展がもたらした開発行為、水質の汚濁や河川や池の改修工事、地球温暖化や大気汚染、気候変動にもかかわらず文明の兵器で争い続ける国々。人間の心が痛み生き物を大切にすることが荒んでいます。  
本当の自然とは澄んだ水きれいな空気トンボと共存できる環境こそ人間生活の安らぎがあるといえる。(吉田)